

ちょっと

# 昔のくらしを見てみよう part 3

# 梅津新聞

(近現代編④)

2020年  
6月26日 金曜日

常陸太田市郷土資料館  
(西二町 2186)  
TEL:0294-72-3201

写真A



学芸員  
ミキさん



今日のおともだち  
アヤちゃん

**ミキ**…答えがわかってしまうので、一部伏字にしています。  
**アヤ**…せっけんと水を入れるから、何

写真B



**ヒント1**：使い方【写真B】  
・ふたを開け、中に●●とせっけん、水またはお湯を入れます。  
・ふたを閉めてストッパーを外し、ハンドルを持ちながらぐるぐる回します。

**ミキ**…みなさん、こんにちは。学芸員のミキです。今日学んでいく「ちよっと昔の道具」はこちら【写真A】です。これは何に使う道具か分かりますか？  
**アヤ**…なんだろう、見たことないよ。地球儀みたいなかたちをしているね。  
**ミキ**…たしかにそうですね。実はこの道具、地球儀と同じく回して使います。

**アヤ**…これは知ってるよ、洗たく板だね。…って、ええっ!! じゃあ【写真A】は洗たく機なの!?  
**ミキ**…そう、洗たくするための道具だったんです!

写真C



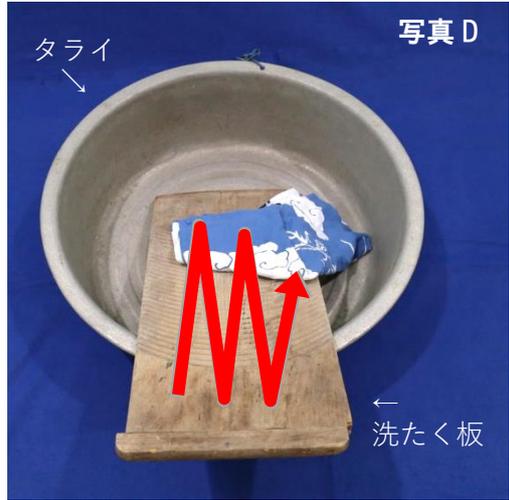
**ヒント2**：進化するまえのすがた (明治時代中期～昭和時代初期) 【写真C】

かを洗うためのものだね。直径30センチくらいであまり大きくないけれど、何を洗うんだろう？  
**ミキ**…すこしむずかしいかもしれないね。次のヒントを見ようか。





写真F



写真D

洗たく機の歴史



ミキ：昔の洗たくは、家族みんなの洗たく物を1つ1つ手で洗っていました。水をはったタライに洗たく物をひたし、せっけんをこすりつけてから板にゴシゴシ押しつけて洗います。【写真D】

アヤ：冬は水が冷たくて大変だね。

ミキ：そうですね、電気洗たく機が出るまではつらい作業だったでしょうね。

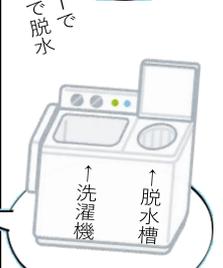
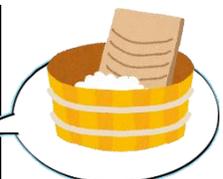
ミキ：日本初の電気洗たく機は昭和5年（1930）に登場しました。しかし値段が高かったため、一部の家にしか置かれませんでした。その後昭和30年代に発売されたのが、【写真A】の「回転式簡易洗たく機」です。洗たく物とせっけん、水またはお湯を入れて、ハンドルを持って【写真E】のように前後に回して洗いました。

アヤ：手は冷たくならないけど、たくさん洗える量には洗えないよ。

ミキ：しかもこの頃、値段の安い電気洗たく機が登場して世の中に普及した

↓洗たく機の歴史年表

時代 (西暦)	できごと
明治時代 大正時代	タライと洗たく板が使われる
昭和5年 (1930)	初めての国産電気洗たく機が登場
昭和28年 (1953)	安価な洗たく機が登場し、世の中に広まる
昭和30年代	回転式簡易洗たく機が登場
昭和35年 (1960)	二槽式洗たく機が登場
昭和40年 (1965)	全自動洗たく機が登場
昭和60年頃	全自動洗たく機が広まる
平成7年 (1995)	全自動乾燥洗たく機が登場



ため、回転式簡易洗たく機は10年くらいで姿を消してしまいました。

ミキ：昭和30年代ごろ（1950年代後半以降）、「白黒テレビ」「電気洗たく機」「電気冷蔵庫」は3種の神器と呼ばれていたんですよ。値段が高く、まだ一般家庭に広まっていなかったため、これらを持つことが人々のあこがれでした。

アヤ：わたしの家には3つともあるよ！今では普通だね。

ミキ：そして昭和35年には、二槽式

電気洗たく機が広まります。洗たく機と脱水槽の2槽にわかれていて、洗い終わったものを脱水槽に移しかえることで、自動で脱水ができるようになりました。

ミキ：さらに時を経て、乾燥機能までついた全自動乾燥洗たく機が登場し、今ではほとんどの家庭で使われるようになりました。

アヤ：すごい発明のおかげで、家事がどんどん楽になったね。